

## 平成 23 年度 第 2 回三輪公民館運営審議会開催報告

1 日 時 平成 23 年 12 月 6 日 (火) 午後 3 時から 5 時

2 場 所 三輪公民館 1 階 学習室 1

3 出席者 委 員 9 名  
事務局 2 名

### 4 議 事

- (1) 平成 23 年度 三輪公民館事業実施状況について
- (2) 平成 24 年度 三輪公民館事業計画(案)について

### 5 議事概要

- (1) 平成 23 年度三輪公民館事業報告について

事務局より別添資料に基づいて説明。(パワーポイント使用)

これに対し以下の意見・質問・提案があった。

委 員:三輪教養大学の一年生 40 人定員に対して 17 名ということだが、何名で行っているのか。

事務局:一年生は 17 名。2 年生 20 名、3 年生 5 名、4 年生 2 名の 44 名で行っている。

委 員:三輪公民館の利用者については、毎年同じ方が継続しているのかどうか。また住民のニーズに答える形になっているか。

また、指定管理者制度の目的のように、受講者が地域の人材として育てているか。

住民自治協議会としては、担い手、後継者がいないことが悩みである。

学習者が公民館で知り合い、地域に貢献していくように望んでいる。

それから、公民館職員の側から運営審議委員に課題として望むことは何か。

事務局：利用者は、継続の方が大多数だと思われる。利用者の新陳代謝がなかなか回れないのが悩みである。利用者の高齢化も深刻である。新たに利用者を発掘するために、単独の学級講座を積極的に企画していく必要がある。新たな利用者層の開拓のため、成人学校は24年度1講座増やす予定でいる。

また、講師の招聘が悩みである。運営審議委員の皆さんにぜひ講師の紹介をしていただきたい。地域公民館長さんにもお願いしているが、三輪地区の人材活用のための人材バンク的なものを作り始めている。ただ講師の側からは、地元だからやりにくい、という声もあるのが現状である。

委員：委員の日々の課題として考えていきたい。公民館が地域づくりの拠点であることを十分に認識して委員として支援していきたい。

委員：公民館の運営審議委員として、地域でアンテナを高くしていきたい。

委員：情報を共有して、三輪地区を良くするために協力していきたい。

委員：講師の高齢化ということだが、教育現場として意見を申し上げる。

児童合唱団の育成に関わっているが、指導者をどう育てるかが課題になっている。なかなか希望者がいない。指導者には練習の場の確保なども重い負担になっているようである。

また、子ども達の土・日曜の過ごし方については多様化しているようである。各種体育系リトルや塾、習い事など忙しいようである。

それから、家庭だけに児童の養育を任せておけないケースも増えている。

先日、自治協だよりにキッズ体験の感想文の依頼があったが、学校に自治協だよりや館報が届いていないようなので、ぜひ情報をいただきたい。

委員：キッズ体験に関わってきた立場から申し上げる。キッズ体験の参加者は低学年が多い。低学年でも参加している高齢者を助け

たり、自然に「群れ遊び」が行われる。異学年、学区外の交流が違和感なく行われている。子どもたちは、父母が手を出しすぎるのを嫌がる。自分でやりたがる。またキッズで取り上げたテーマが小学校の総合の時間に取り組まれた事例もある。

事務局：キッズ体験については、三輪小、湯谷小、城東小、附属小を通じて三輪地区の全児童にチラシを配布していただいている。児童合唱団については公民館を利用していただけるので相談してほしい。

委員：キッズ体験については、毎回市民新聞で取材に来ていただき、取り上げていただきありがたい。

## (2) 平成 24 年度三輪公民館実施事業について

事務局より別添資料に基づいて説明。(パワーポイント使用)  
これに対し以下の意見・質問・提案があった。

委員：24 年度の歴史講座は、駒込先生での開講は困難なのか。

事務局：駒込先生にはお願いできないので、地元の方にお願ひし「地域の歴史」のようなものを考えている。本郷の七福神めぐり、三輪の神社めぐり等、広範にわたって受講してもらえるよう考えていきたい。

委員：地域に県史や近代史に詳しい方もおられるので、お願いしてみたらどうか。

委員：市の公文書館などにも相談してみるといいのではないか。講師の就任につながるよう努力していただきたい。

事務局：候補として考えている方は何人かいる。委員さんには引き続き助言をお願いしたい。

委員：いずれにしても利用者や受講生は高齢者が多い。クリスマスシーズンを迎え、地域内でも玄関のドアに素敵なリースを飾って

いるお宅がある。クリスマスリース作りの講座などを行えば若い方が集まるのではないか。

委員：韓国語講座を考えておられるようだが、今後ますます英語以外にも必要になるグローバル化が進んでいくと思うので、韓国語もいいのではないかと思う。

事務局：韓国語講座については現在交渉中である。韓国出身の方で、現在いくつかの学校で講師を務めている。公民館として成人学校の講座も大切にしたいと考えている。

(3) その他の議題について説明

1. 運営審議委員について
- 2 市立公民館指定管理制度について
- 3 「元気なまちづくり市民会議」報告  
(公民館の駐車場の問題について)

委員：支所と公民館のすみわけはどうなのか。

事務局：旧館も新館も公民館が庁舎管理を行っている。

委員：公民館の利用の促進には駐車場の整備が不可欠だと思う。十分な駐車場の確保は基本である。現状で理解してもらいたい、では納得できない。大事に考えてもらいたい。  
運営審議会課題として市にどう折衝していくのがいいのか。

委員：駐車場が混む日は大体決まっていると思うので、講座などばらけたらどうか。

事務局：水曜日は成人学校 2 講座。月曜はフランス食卓、お菓子講座が入っているが、いずれも講師の都合などで動かすことは難しい。

委員：いずれにしても、もう少し駐車台数を増やす努力を行ってほしい。